

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



その独特の景観とそこに息づく
入々の暮らしから、国の重要伝統的建造
物群保存地区に選定され、日本で最も

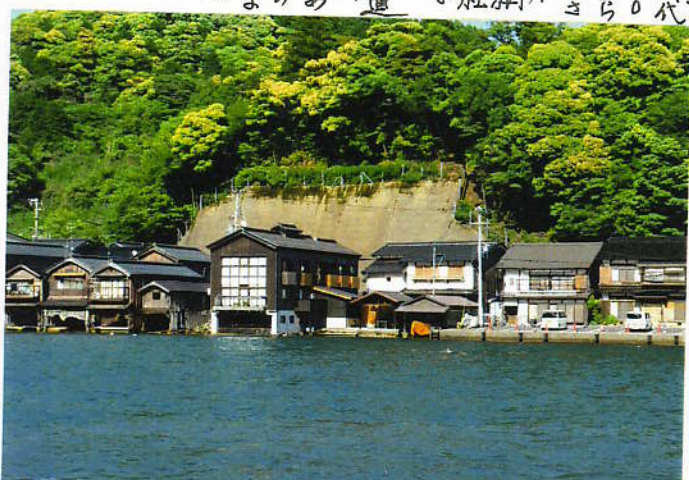
旅人は想う 伊根の 舟屋

平成27年5月13日北近畿の
旅をのしんだ。特に丹後半島の
すげのさげは、食・美・景三要素
がバランスよく、誰れが訪ねても、
人生満足度最高点である。
一階が船のガレージで二階が居室
になっている「伊根の舟屋」は、
伊根湾沿いに水際ぎりぎり、約
230軒が群として建ち並んでい
る。



美しい村連合
にも加盟している。

舟屋は江戸時代
の中期(1800
年代)前後から
存在しているとい
水。当時は茅
葺の屋根で網
を干す必要に
から床板はな
がた。
生活の基盤は道
を隔てて山側
にある舟屋にあ
り漁業中心の
生活は現在ま
で引き継がれ
ている。



現在は伊根の舟屋とシケ地とい
ふ利用されている。
へええには、男はつらいよ釣りが得意
等らしい舟屋です。
た、この町も若者の脱住転出で
高齢者がかりにならざる現状より
「舟屋の暮らし」を考え
地産資源の持続性を考える
講演会も開催された。
又大学の教授連でテーマは、見込まれた
舟屋集落の伊根きぼろの愛蔵
漁具集落の空間構成と暮らしの
持続性と言えよう。なるが、現実味の
あるテーマトクをしても、このまうな
ことが皆さんの保存地区としての大い
力にならざるのでは、はいか
町の運にイタゴトすると、やはり最後
は環境モラルをみんまで守ることか、
さらけり最大の武器だと、民宿経営
者は述べている。観光力を入るの
が、この地区の価値感か分る人
を歓迎すると言っていた。

舟屋の海が
語る近視眼
は薄さを極め
透き通る脂は希
少な映り、ま
しい調登捕鯨
が標記された日本
異なる食文化への
無理解と水産園
の落月。
舟の幸を呼ぶ熱
意と知恵では世
界のお手本とい
敬い、梓守の方
が、結局は得、自
然の恵みに長
ずる工夫が必要。
漁師は量り質
にこだわり、



舟屋の海が
語る近視眼
は薄さを極め
透き通る脂は希
少な映り、ま
しい調登捕鯨
が標記された日本
異なる食文化への
無理解と水産園
の落月。
舟の幸を呼ぶ熱
意と知恵では世
界のお手本とい
敬い、梓守の方
が、結局は得、自
然の恵みに長
ずる工夫が必要。
漁師は量り質
にこだわり、



舟屋の海が
語る近視眼
は薄さを極め
透き通る脂は希
少な映り、ま
しい調登捕鯨
が標記された日本
異なる食文化への
無理解と水産園
の落月。
舟の幸を呼ぶ熱
意と知恵では世
界のお手本とい
敬い、梓守の方
が、結局は得、自
然の恵みに長
ずる工夫が必要。
漁師は量り質
にこだわり、